

[参考様式4]

署 水 下 第905号

平成28年11月29日

国土交通大臣 様

提出者 四條畷市下水道事業
四條畷市長 土井一憲



社会資本総合整備計画の変更について

平成27年3月23日付け署水下第1217号で提出した、下記の社会資本総合整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

記

- 提出する社会資本総合整備計画
 - ・四條畷市公共下水道整備計画（防災・安全）（第1回変更）

(参考様式2)社会資本総合整備計画

平成28年11月29日

交付金の執行状況

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	12	15			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	12	15			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	12	15			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0	0			
未契約繰越+不用率が10% を超えている 場合その理由					

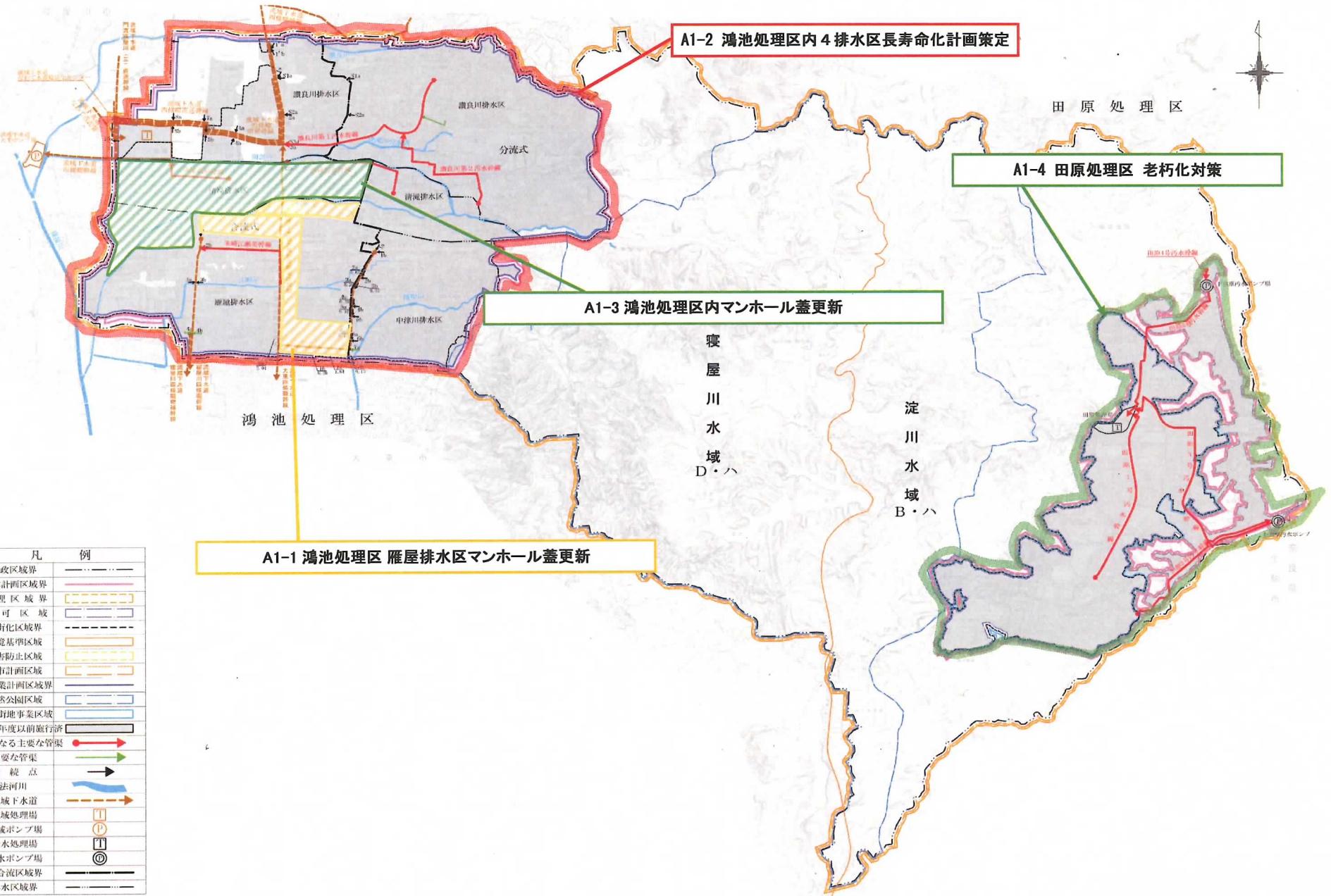
※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式 3)

計画の名称 四條畷市公共下水道整備計画(防災・安全)

計画の期間 平成27年度～平成31年度(5年間)

交付対象 四條畷市



社会资本整備総合交付金チェックシート (都市再生整備計画事業等タイプ)

社会资本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 四條畷市公共下水道整備計画(防災・安全)

事業主体名: 四條畷市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
(1) 都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
(2) 地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
(3) 目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
(4) 事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
(5) 地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	<input type="radio"/>
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
(6) 円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	<input type="radio"/>
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>